

# 地震の対策

## 今すぐできる地震対策

地震によって建物が倒壊しない場合でも、大きな家具の転倒やガラスの飛散などにより、ケガをしたり、閉じ込められたりするおそれがあるので、今すぐ地震対策を行いましょ。

### 収納に工夫

●タンスや本棚などにものをいれる場合は、重いものは下に、軽いものは上に収納するようにしましょう。

### 置き方に工夫

●家具の下部前方に転倒を防止するための板などを入れ、壁にもたれ気味にしましょう。  
●出入口や通路には、なるべく荷物を置かないようにしましょう。

### 地震のときに家具などが就寝部分に倒れたり、避難経路をふさぐ位置に配置しないようにしましょう。

正しい配置

### ガラスの飛散防止

●割れたガラスが飛び散るのを防ぐため、ガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。

手近な取り出しやすい所に運動靴などを用意しておくと、災害時の足のケガを防止できます。

### 耐震金具の利用

#### 転倒防止金具

壁・柱・鴨居と家具を固定するタイプと、天井などに固定するタイプがあります。家具や室内の状況によって使い分けましょう。

#### 重ね留め用金具

重ねた上下の家具を固定し、上の家具の落下を防ぎましょう。

### 扉・引き出し開放防止金具

地震発生時に、扉・引き出しが開かないように固定します。さらに、収納物の落下を防止するために棚板にふきんを敷いたり、木や金属棒などで飛び出し防止枠をつけると安心です。

## 家屋の耐震化を行いましょ

地震から自分の家族の命を守るために、住宅の耐震化を行いましょ。播磨町では、昭和56年5月31日以前に着工した住宅は無料で「簡易耐震診断」を受けることができます。詳しくは町のホームページをご確認ください。

### 家屋の耐震化例

- 「屋根」の軽量化
- 「接合部」の補強
- 「壁」の補強
- 「老朽・腐朽部材」の交換
- 「地盤・基礎」の補強

## 震度と揺れの状況

### 震度6弱

立っていることが困難。ガスの配管や水道管に障害が発生する。耐震性の低い建物は倒壊の危険がある。

### 震度6強

立っていることができず、はわないと移動ができない。補強されていないブロック塀のほとんどが崩壊する。

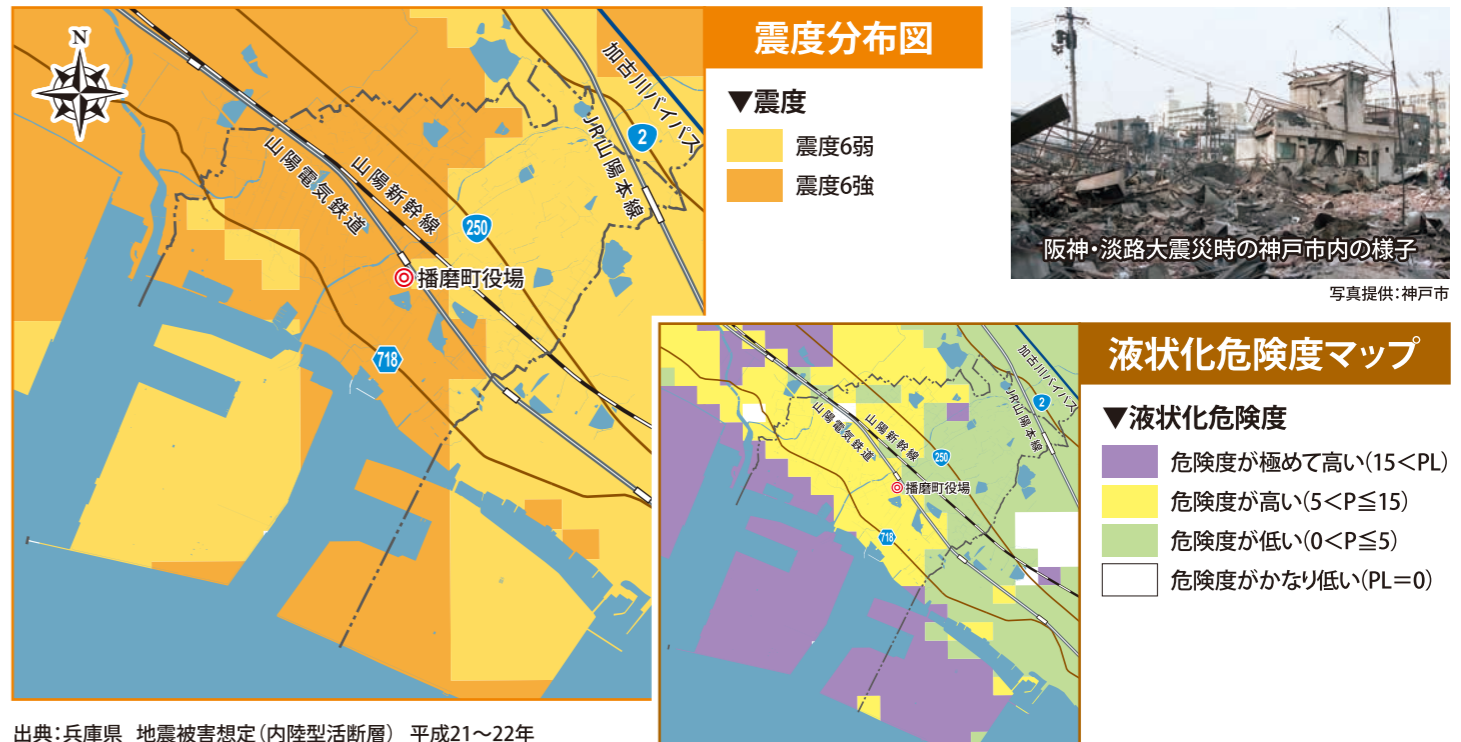
### 地震の後

液状化が発生すると、建物が傾いたり、水が地表に吹き出したりします。

# 震度分布図／液状化危険度マップ

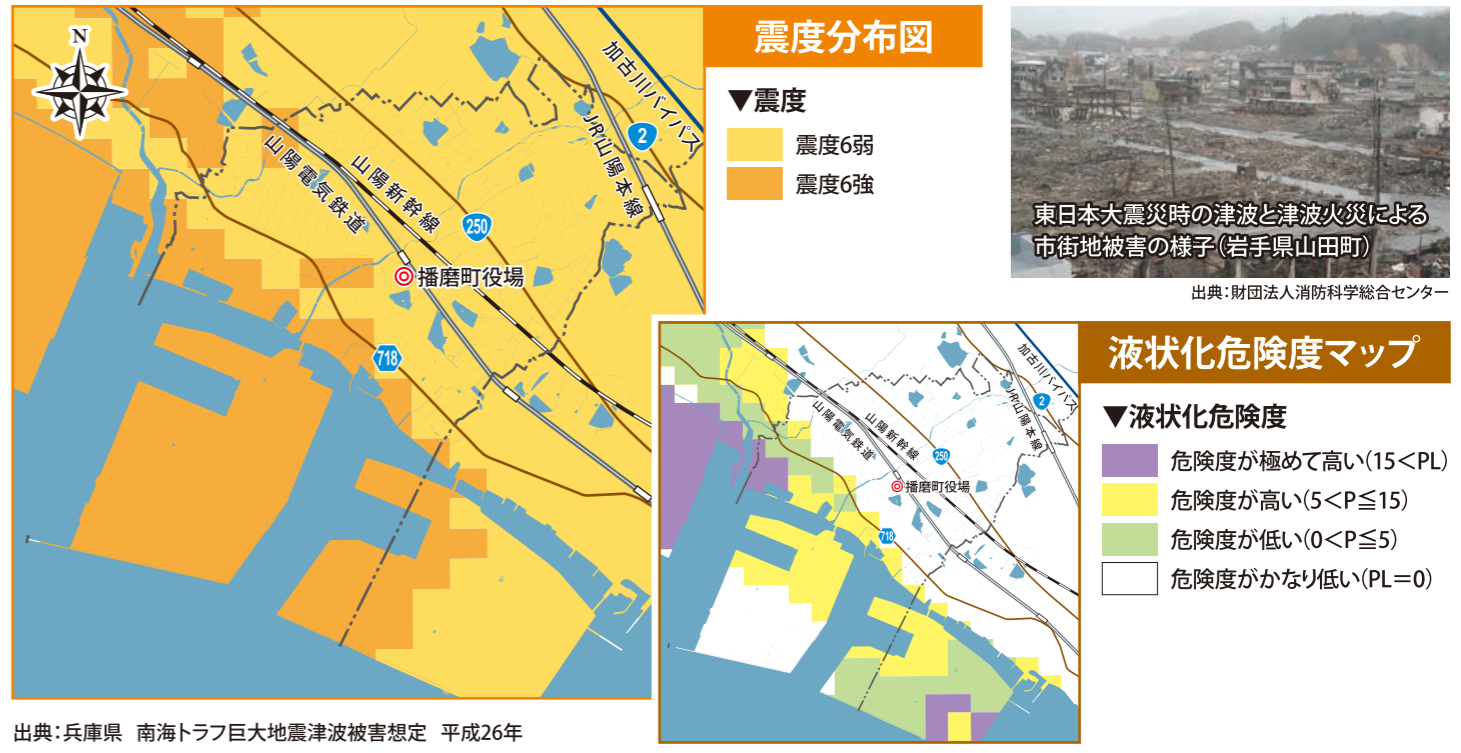
## 山崎断層帯地震

山崎断層帯地震が発生すると、播磨町では最大震度6強、建物全壊・焼失908棟（建物の約14棟に1棟の割合）、建物倒壊、火災等による死者58人（住民約600人に1人の割合）の被害が予想されます。



## 南海トラフ巨大地震

南海トラフ巨大地震が発生すると、播磨町では最大震度6強、建物全壊・焼失354棟（建物の約36棟に1棟の割合）、建物倒壊、火災等による死者21人（住民約1,650人に1人の割合）の被害が予想されます。



※上記2つの想定ともに、建物全壊・消失数は冬18時、死者は冬5時の場合。割合は町の建物総数12,800棟、人口34,700人として計算。

# 地震・津波が起きたら

## 地震・津波発生時に取るべき行動

発表される情報

取るべき行動



地震発生から  
1~10分

### 緊急地震速報

震度5弱以上が予測されたときに発表

「緊急地震速報」を見聞きしたら、身を守るための行動を取る必要があります。



- 頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れましょう。
- 屋外では、ブロック塀の倒壊等に注意してください。



### 震度速報

震度3以上で発表

命を守る行動を取りましょう。その後、揺れが収まってから避難行動を開始しましょう。



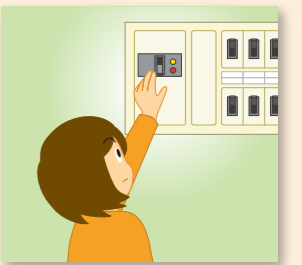
- 大きな家具から離れるなど、落ち着いて自分の身を守りましょう。
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確認してください。

### 津波に関する情報あり

地震発生から約3分後に発表

安全の確認、避難の準備・開始

- 家族の安全を確認しましょう。
- 火の元を確認、初期消火を行いましょう。
- 次の地震に注意しましょう。
- 足のけがをしないように靴を履きましょう。
- ラジオなどで情報を得てください。
- 隣近所の安全を確認しましょう。
- 電気のブレーカーを切りましょう。



### 津波注意報

高いところで1m以下の津波が予想される場合に発表

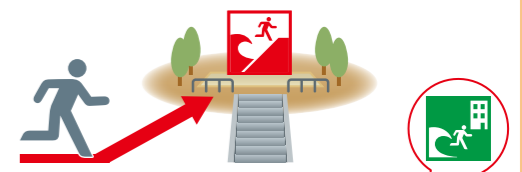
津波避難対象地域の方は津波から避難する!

※沿岸部にいる場合は、すぐに津波が襲来することがありますので、情報を待たずに避難を開始しましょう。

### 津波からは、より「遠く」より「高く」避難する

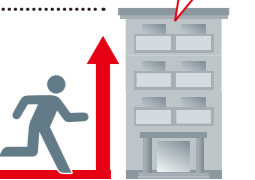
#### 1 津波避難目標地点へ避難する

- 喜瀬川より西の地域は大中遺跡公園へ、避難してください。
- 喜瀬川より東の地域は野添北公園へ、避難してください。



#### 2 逃げ遅れたら、緊急的に津波避難ビルへ

津波避難ビルとは、町と協定を結んだ高層階を有するビル等、緊急的かつ一時的に津波・高潮・洪水から退避する施設です。



### 津波警報

高いところで1m~3m以下の津波が予想される場合に発表

火災等の避難の必要がある場合、一時避難地、広域避難地へ避難する

一時避難地とは、公園等の空地で、小規模災害からの危険を回避する場所です。

広域避難地とは、大きな公園等の空地で、大規模災害からの危険を回避する場所です。

### 大津波警報

高いところで3mを超える津波が予想される場合に発表

### 避難指示

播磨町が避難を必要と認める場合に発令

### 津波に関する情報なし

当面の危険が去ったら、自宅か避難所へ

避難所とは、自宅が被災し、住居を失われた方を一時的に受け入れる施設です。

### 地域を守る、避難所等への移動

自宅の安全が確認できた場合には、自宅に留まることも選択肢の一つです。

- 壊れた家には入らないようにしましょう。
- 地域で協力して、消火、救出活動を行いましょう。
- 避難所では、集団生活のルールを守り、助け合いましょう。



それ以降

災害情報、被害状況